

## 林野庁 プレスリリース

4月1日	森林内の放射性物質の分布状況調査結果について
4月8日	江藤農林水産副大臣の「治山事業100周年記念 治山功績者表彰式」への出席について
4月10日	第24回 森と花の祭典-「みどりの感謝祭」の開催について
4月18日	第8回「みどりの式典」の開催と「平成26年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の受賞者の決定について
4月22日	日豪EPA(経済連携協定)交渉大筋合意の内容について(林産物関係)
4月25日	外国資本による森林買収に関する調査の結果について

## 山火事防止にご協力ください

各地で山火事が多発しています。

今の時期は、空気が乾燥していることに加え、冬の間落ち葉や枯れた草がそのまま野山に積もっていること、山菜採り等で山への立入りが多くなるシーズンであることなどから、山火事が発生しやすい条件がそろっています。

いったん山火事が発生し、燃え広がってしまうと、すぐに消し止めることが非常に困難です。山火事は森林を育ててくれた先人の苦労が瞬間に泡と化すだけではなく、人命や家財を奪ってしまうことになりかねません。当面の間は、引き続き山火事の危険性が高い時期ですので、火の始末にご注意ください。

国有林を管理する森林管理署でも、山火事の消火機材を備え付けるなどするとともに、地域の皆様にご協力をいただきながら、山火事の予防や消防に取り組んでいます。



## 'はるか' よ育て！



(写真提供：森林総合研究所)

本誌3月号(No.84)でもご紹介したサクラの新品種 'はるか' を、農林水産省庁舎の正面玄関前に植樹しました。

八重桜 'はるか' は、独立行政法人森林総合研究所 多摩森林科学園のサクラ保存林に植えられている '患川' から採種した種子を発芽させたものです。遺伝子分析によると、'はるか' は '患川' と '手弱女' が交配したものと考えられており、これら両親の先祖と考えられる野生種としてはマメザクラ、エドヒガン、オオシマザクラ、ヤマザクラの4種の関与が推定されています。

平成25年に放映されたNHKの大河ドラマ「八重の桜」にちなみ、福島県では八重桜を東日本大震災からの復興のシンボルとしていて、平成24年に品種登録を出願したこの新品种の八重桜は、大河ドラマ主演の綾瀬はるかさんによって 'はるか' と命名されました。現在、福島県では復興支援に対する感謝の気持ちとして、全国に 'はるか' の苗木を贈呈・植樹するプロジェクトを進めています。

この度、多摩森林科学園から 'はるか' の苗木の提供を受け、農林水産省でも被災地の一日も早い復旧・復興を祈念して、植樹を行いました。



多摩森林科学園長から 'はるか' の説明を受ける農林水産大臣

林野庁では被災地域で、林業・木材産業の復旧・復興や、津波に強い海岸防災林の整備、森林における除染技術の開発など、様々な取り組みを行っています。

庁舎前の 'はるか' も復旧・復興のシンボルとして、すくすくと大きく育ててほしいものです。